



目黒南中だより

令和7年度 第10号
令和8年2月2日発行
目黒区立目黒南中学校

【教育目標】 自立 協創 信頼



目黒南中学校ホームページ

自己調整しながら「壁」に挑む

校長 金子弘樹

「一月往（い）ぬる二月逃げる三月去る」という言葉があります。一月から三月は行事やイベントなどが多く月日が足早に過ぎてしまう例えとして使われますが、2月を迎えた今、皆さんはどのように感じていますか。

1年生が1月12日（月）から2泊3日で自然宿泊体験教室を実施しました。「最高な仲間と最高な瞬間」をスローガンに掲げ、「凡事徹底」を意識しながら体験活動に取り組んでいました。しおりを見ながら時間を意識して行動する姿、人が前に立ったときに話を聞く姿勢をつくる姿、自分たちで企画したレクリエーションを自分たちで進行する姿など、日々成長していく姿が見られた3日間でした。この3日間の経験が、「自立」を目指して「協創」する姿勢が学年の「信頼」に、そして「感謝」の心の育成につながっていくと思います。

2月は、2年生は校外学習、3年生は進路決定を目指した受験など大切な、そして一人一人が成長していく日々の活動が続きます。教育活動や行事、イベントは校内だけでなく、社会生活の中にもたくさんあります。節分、立春、バレンタイン・・・。

その一つ、2月6日から22日まで、第25回オリンピック冬季競技大会がイタリアのミラノとコルティナ・ダンペッツォで共同開催されます。先日スキーを体験してきた1年生だけでなく、2年生や3年生の中にも冬季競技に関心を高めた人もいます。オリンピック冬季競技大会が始まったのは1924年、フランスのシャモニー・モンブラン。日本選手が参加したのは1928年、スイスのサンモリッツで開催された第2回大会からです。日本選手のメダル1号は、スキー回転の猪谷千春選手（1956年コルティナ・ダンペッツォ大会）（70年前のコルティナ大会）。金メダル1号は、スキー70m級ジャンプの笠谷幸生選手（1972年札幌大会）。1928年の初参加以来、日本選手が獲得したメダルの総数は76個。今まで長年に渡り多くの競技者がオリンピック出場やメダル獲得を目指して練習に取り組んできました。その選手たちの様々な思いや心の葛藤。そして目標達成に向けて自己調整した努力。さらに自分で作ってしまった「壁」を乗り越えよう（リミッターをはずせ）と積み重ねた努力など、目標に向かって努力している皆さんにとっても選手たちからの学びがあるはずです。自己調整しながら「壁」に挑む選手たちを心から応援したいと思います。